

ゆめの園りあん若葉通信



発行日：2022年08月13日

編集＆発行

ゆめの園りあん若葉広報

電話：03-3935-5780

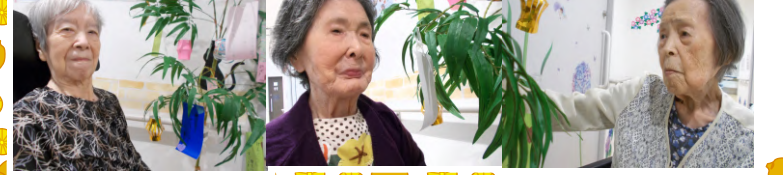
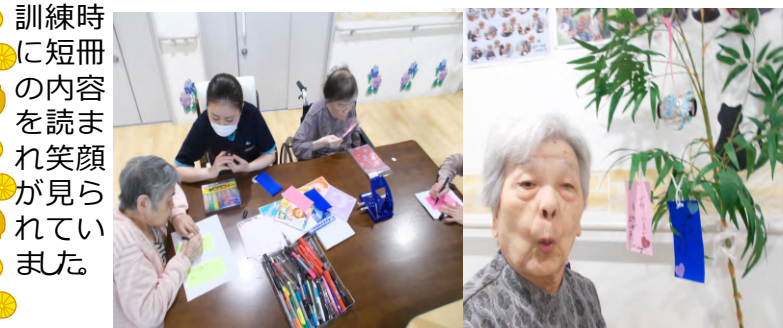
残炎の候

拝啓、今年は、立秋とは名ばかりの
 厳しい暑さが続いています。蒸し暑く、
 寝苦しい夜が続いておりますが、お障
 りなくお過ごしでしょうか？ コロナコ
 ロナといい加減に終息してほしいもの
 ですね？

7月はコロナの影響で、職員が次々と
 自宅待機や陽性者が相次ぎ思うように行
 事を行うことができませんでした。そん
 な中でも何とかご入居者様に喜んでいた
 だこうと開催できたユニットの若葉通信
 となりました。申し訳ございません。何
 卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。
 ※前月に続き今回も令和3年度に実施さ
 せていただきました。第三者評価の結果
 をホームページにアップさせていただきました。

3階三、四丁目

7月10日に七夕のイベントレクを実施しました。飾り
 や短冊に願い事を書いて頂き、可能な方は自身で笹の葉に
 つけていただきました。短冊記入の際「なにを書こうかなー。
 迷っちゃうね」と職員と談笑しながら記入される。様子
 がみられました。疾患により、ご自身の意思を上手く表現
 できないご入居者様には、職員が何個か案を出して、反
 応をみて短冊に記入をさせていただきました。歩行訓練
 等で通る場所に笹を設置し、行事時以外でも七夕を感じて
 いただける環境を整えさせていただいてます。実際に歩行
 訓練時に短冊の内容を読まれ笑顔が見られていま



4階一、二丁目

4階1.2丁目は今回夏という
 事で、マーブリングでオリ
 ジナルのうちわを作成しました。作成時にどんな色を混ぜ
 ようか、どんな風になるんだろう等話されながら完成を待
 ち望んでおり、色とりどりのうちわが完成した際は「これ
 綺麗な模様が入っていいね」等ご自身・他ご入居者様のう
 ちわを見ながら話されていま



7月駅弁・郷土料理

東武鬼怒川線 鬼怒川温泉駅
 「ゆばちらし寿司」日光名物
 の一つゆばを手軽に食べられる駅弁です。中はゴマ入りの酢飯
 の上にゆばとエビ、玉子焼き、銀杏、煮物をのせたものです。
 ゆば、これがメインになっている駅弁は他には中々ないです。
 思っていたより歯ごたえあり、大豆の味もしっかりとあり、そ
 れでいて出汁の風味も感じられました。酢飯は結構酢がきいています。他に銀杏
 が散らしてあるのはやはり蓋の和紙から
 もイメージする通り秋の駅弁。
 海老や玉子焼き、大根なますと至って美
 味です。煮物も椎茸が濃すぎる味で意外
 に美味しかったです。



ムサカはアラビア語の「ムサッカア（冷やしたもの）」が起
 源と言われており、アラブ諸国では冷菜として扱われていたよ
 うです。ギリシャでは温かい状態か常温で食べるのが一般的で
 す。ギリシャの他に、トルコやエジプトなどにもありますが、
 使う食材やレシピは国により異なります。ギリシャでは、耐熱容器にオリ
 ブオイルでソテー、または揚げたナス
 のスライス、マッシュポテトまたは火
 を通したジャガイモと一緒に調理した
 挽肉、ベシャメルソースを順に重ねて
 オーブンで焼いた、グラタンに似た料
 理です。



4階三、四丁目

七夕の飾り付けと短冊に願い事を書いて頂きました。飾り付けを皆で行う際に足りない飾りを皆で作
 り直し「これはこうやるのよね」「確かこれはこう」「子供が小さいころ一緒に作ったわ」と自身のお
 子様に思いを馳せて作られていました。短冊への願い事は「皆幸せに」「コロナの終息」「美味しい物
 食べたい」「〇〇に会いたい」などそれぞれ思いを書かれていました。職員からは「入居者様がご家族と早く会えますよう
 に」と書かさせていただきました。今年の七夕はお天気が良く天の川で彦星と織姫様が会え
 たから入居者様が家族と過ごせる日が待ち遠しいです。



3階一、二丁目

スイカ柄のゴムボールを椅子に固定
 してバットで利用者様に叩いて頂く
 事をして頂きました。叩く際には周
 りのご入居者様には『よいしょ、え
 いやー』など声をだしていただい
 ています。皆さん笑顔で参加され待機
 中の方も周りのご入居者様と笑顔で
 話されていました。叩きが終わった
 方からすいかジュースを提供すると
 喜ばれていました。
 参加された方、一人一人写真を撮ら
 せていただき、この写真は近況報告
 の為ご家族へ発送いたします。

